

令和5年度修了おめでとうございます。

皆さんの今年度の読書生活はいかがだったでしょうか。充実していましたか？心に残る珠玉の1冊に巡り合うことはできたでしょうか。今年度はたくさんのお迎えし、皆さんに届けてきました。きっと、まだ手に取ることができていない、という人もいらっしゃるかもしれません。ぜひ、この春休みには、じっくりと今年1年の読書生活を振り返り、これから読んでみたい本、チャレンジしたい本をピックアップしてみるのがいいですね。

遠藤康成校長先生の『ぜひ読んでほしい1冊』

“ぜひ読んでほしい1冊”、ん～悩みます…悩みに悩んだあげく、選んだのが「十五少年漂流記 ジュール・ヴェルヌ作」です。

確か小学校の図書館にあった本で、休み時間になるのが待ち遠しいくらい少年の私を惹きつけました。

『読んでほしい本』というよりは、「あのときの自分に戻ってもう一度読みたい本」のような気がします。

実は、物語の記憶は薄れかけていますが、無人島に漂着して2年間生き延びた少年達の冒険の様子が頭の中に広がり、わくわくしたなんとも言えないあのときの気分は、何歳になっても色あせません。多分、あの年代にしか味わえない特別な感動体験だったのではないかと思います。

中学生のみならず、そんな素敵な本との出会い(体験)を数多くしてほしいと心から願っています。

(朝、教室を回っているときに、一心に本を読んでいる人の横顔を見て、「いい顔だなあ」と思っていました…。)



(インターネット画像より)

今年度も、岩代中学校図書館をたくさん利用していただき、本当にありがとうございました。今年度は、図書委員の生徒が中心となって、図書館蔵書選定のためのアンケートを行ったり、来館者を図書館前に掲示するなど呼びかけを工夫したりしてきました。おかげさまで、多くの生徒の皆さんに足を運んでいただき、賑やかに居心地の良い学校図書館が実現しました。ありがとうございました。

学校図書館には、「読書センター」としての役割と「学習・情報センター」としての役割があります。「読書センター」として、本を選んで読む経験、読書に親しむきっかけを与え、読みふける場を提供したり様々な本を紹介し、読書の楽しさを伝えたりしてきました。来年度からは、「学習・情報センター」としての機能(図書館資料を使って学習活動を支援するなど)を充実させられるよう、さらに工夫していきたいと思っております。来年度も多くの来館をお待ちしています！ぜひ春休み期間にも、多くの素晴らしい本に巡り合ってくださいね。

(「文部科学省 学校図書館」参照)